

# 第13回 〈ケア〉を考える会-岡山

■日時： 2014年11月9日(日) 14:00~16:30

■会場：川崎医療福祉大学 本館 6階 6001演習室(定員 35名)

<http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw/access/index.php>

※建物の1階(防災センター)から備え付けのスリッパに履き替えてお上がり下さい。

エレベーターで6階へ行きますと、降りた正面に案内標識があります。

駐車場を利用の場合は、福祉大学の職員・学生駐車場(病院とは道をはさんで反対側)をご利用ください。1時間 100円です。

■会費：無料 どなたでも参加できます。気軽にご参加ください。

■テーマ： **障害受容と芸術** —障害受容からの解放—

存在を肯定するための“disability-inclusive arts”の提案

発表者： **田中 順子**

(川崎医療福祉大学 リハビリテーション学科 准教授/作業療法士)

——「障害受容なんて一生かかってもできないんじゃないかなあ」といった障害者の声を聞いたことがあります。[……]

作業療法士の私は、自分の病や障害を受け入れることができない患者のやり場のない怒りや切なさ等をどれだけ自分が理解し、支える努力をしているかということをも問われさせられることとなりました。そして、障害を受容できるように援助するよりも、障害は受容しなくてもいいということを伝えられる医療者になることのほうに意義があると思うようになりました。——

(田中順子著『患者と医療者の間で』 p.147 より)



## ■呼びかけ人

大賀由花 (赤磐医師会病院/透析療法指導看護師)

河合清志 (社会福祉士),

小林真美

清水昭雄 (管理栄養士)

田中順子 (川崎医療福祉大学リハビリテーション学科/作業療法士)

林道也 (社会福祉士)

平松邦夫 (社会福祉士)

松川絵里 (カフェフィロ代表/大阪大学 CSCD 特任研究員)

山本広美 (社会福祉士)

■参加申し込み・問い合わせ：[884michiya@gmail.com](mailto:884michiya@gmail.com) 090-5366-1497 (林)

できれば事前にお申し込みください。(満席となりお断りする場合にのみ連絡いたします。)

■懇親会……終了後に、会場近くの居酒屋で懇親会を開きます(希望者)

※ ホームページもご覧ください ⇒ <http://okayama-care.jimdo.com/>

## 「〈ケア〉を考える会-岡山」とは……

▼岡山(倉敷)で、〈ケア〉について学び考えています。

〈ケア〉といえば、「看護」「介護」「支援」「世話」などが先ず頭に浮かびます。超高齢社会を生きる私たちにとって、切実な課題の一つです。

そして、〈ケア〉は、もっと広く捉えることもできます。たとえば広井良典氏は、ケアを「人と人との間の『関係性』という意味に理解してみたい」と述べ、さらに、個人がコミュニティや自然などとつながっていくような方向でもケアを考えます。「『ケアの哲学』とでもいうようなものが必要」とも言っています。

また、鷲田清一氏は「臨床哲学」の重要テーマの一つに「ケア論」を置き、「ケア」の奥深さをさまざまに説いています。

この会では〈ケア〉について、身近なところから理論的なものまで、そして、狭い意味から広い意味まで、幅広く深く考えていきます。

▼この会の参加者は、医療・看護・介護・福祉・教育などの現場、または地域や家庭などで〈ケア〉に関わっている方、大学や学校で〈ケア〉の教育・研究に携わる方や学んでいる方、さらに、その他、〈ケア〉に関心や関係のある方などです。

〈ケア〉に関わる人たちが学び交流することで、明日からの力を得る「場」となることを願います。

▼会では、本を読んだり、または、人の話を聞いたりして、語りあいます。

そして、会の後には、会場近くの居酒屋で懇親会を開きます(希望者)。

学び、語り合い、そして、食べ、飲み、さらに、語り合う。この会は参加者の「つながり」を大切にします。

